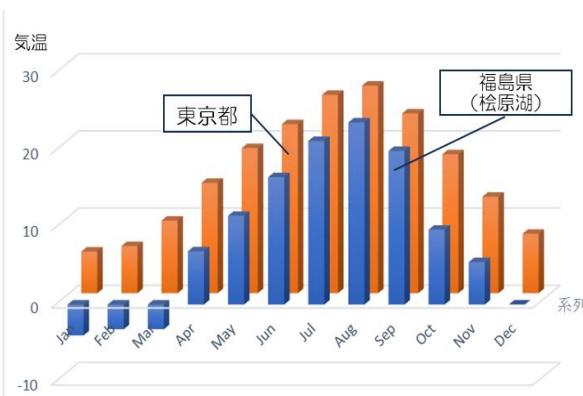
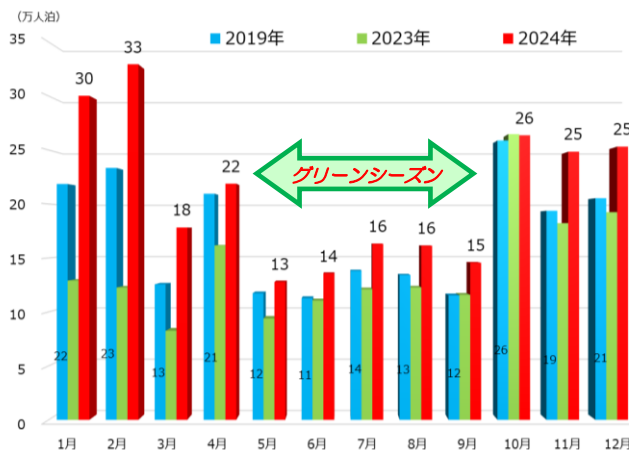


《巻頭特集①》 グリーンシーズンPRの取組み

東北の外国人延べ宿泊者数は5月～9月にかけて落ち込む傾向があることから、需要が低くなるグリーンシーズン（5月～9月）の魅力を訴求することにより需要喚起を行い、四季を通じた誘客促進を図る必要があります。



【(東北6県・新潟県) 外国人延べ宿泊者数月別推移】

東北には、花、新緑、渓谷美、トレッキング、祭り等、東北の夏ならではの魅力あるコンテンツに加え、首都圏や西日本に比べ平均気温が低く、比較的過ごしやすい気候であることなどのグリーンシーズンを訴求するポイントがあります。

東観推では、それらの東北のグリーンシーズンならではの魅力をオウンドメディアで情報発信するとともに、グリーンシーズンでの招請事業も併せて実施するなど、グリーンシーズンのプロモーション強化を図り四季を通じた誘客促進に取り組めます。

取組① 招請事業等の実施

【年間スケジュール】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
タイ市場			6/2～6 旅行会社招請	・タイ人に人気の花の鑑賞 ・新緑の美しさや涼が感じられるスポット		
韓国市場				7/8～11 旅行会社招請 ・アニメの聖地巡礼・奥松島や気仙沼のオルレ	8/31～9/5 インフルエンサー招請	
香港市場			旅行会社招請	7/16～22 フックフェア 7/18～19 8to8 セミナー等	・夏季の旅行が魅力的に感じられるスポット ・OTA掲載やFIT特化商品を意識した招請	9/25～28 HTE
シンガポール市場						
欧米市場			6/4～8 インフルエンサー招請 6/9～10 インフルエンサー招請	7/3～6 JAPAN EXPO	インフルエンサー招請	
豪州市場		5/25 旅行博等出展				インフルエンサー招請
欧州プロモーション			6/4～7 旅行会社 トップ層招請 6/20～25 旅行会社 商品造成者招請			
アドベンチャー ウィーク		5/26～30 ATTA事前視察				9/15～22 アドベンチャーウィーク ファムツアー
現地イベント等						
招請事業 (グリーンシーズン)						
招請事業 (グリーンシーズン除く)						
旅行博等出展						

【イメージ】



旅行会社やインフルエンサーを招請し、グリーンシーズンの東北を体験していただいております。体験を通して旅行会社には次年度に向けた商品造成を、インフルエンサーには桜、紅葉、雪以外の新緑（深緑）シーズンの過ごし方（楽しみ方）について情報発信を行っていただいております。グリーンシーズンは既に招請を実施した国、地域市場の評判も良く、四季を通じた誘客に期待しています。

取組② オウンドメディア等での情報発信

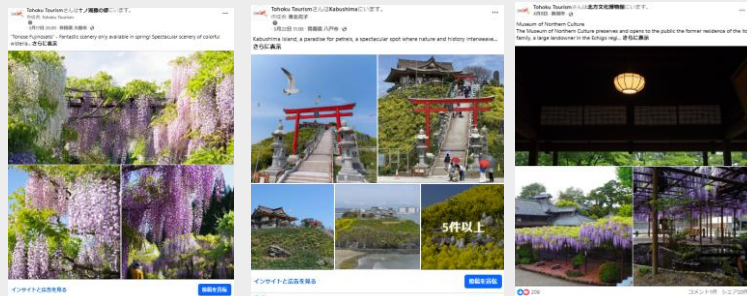
グリーンシーズンにしか体験できない、より海外へ認知させたい東北特有のコンテンツの魅力を集中的にオウンドメディア等を通じて発信しています。

◆SNSによる情報発信

SNSでは、インバウンド向けのアカウントを中心に、各県・仙台市からご提案いただいたグリーンシーズンのコンテンツを41件投稿しました。(6/2時点)

特に英語版Facebook(Tohoku Tourism)では「十ノ瀬藤の郷(秋田県)」、「無嶋神社(青森県)」、「北方文化博物館(新潟県)」のリーチ数(コンテンツを1回以上見た人の数)が大きく伸び、「藤」などの色鮮やかな投稿や「神社」などの日本らしいモチーフが写っている投稿のリーチ数が高い傾向となりました。

英語版Facebookでの発信



【十ノ瀬藤の郷】

【無嶋神社】

【北方文化博物館】

香港・台湾版Instagramでの発信

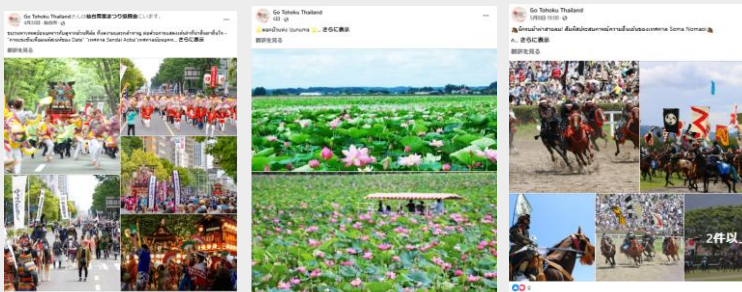


【みちのくあじさい園】



【水没林カヌーツアー】

タイ語版Facebookでの発信



【青葉まつり】

【伊豆沼・内沼 ハス】

【相馬野馬追】

中国語Weiboでの発信

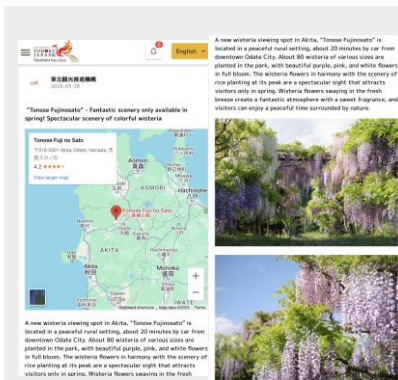


【元瀧伏流水】

【日帰りSUP体験ツアー
in大倉川渓谷・新緑SUP!】

◆CRM、関係団体と連携した情報発信

「TOHOKU Fan Club(CRM)」でも海外の会員に対しグリーンシーズンのコンテンツを集中的に発信しているほか、「TOHOKU travel information」、JNTOの「情報発信(一般観光情報)フォーム」を通じ、JNTO海外事務所等からも広く発信しています。



【TOHOKU Fan Clubでの発信】



【TOHOKU travel information】



【JNTOフランス市場Instagram
Découvrir le Japonでの発信】

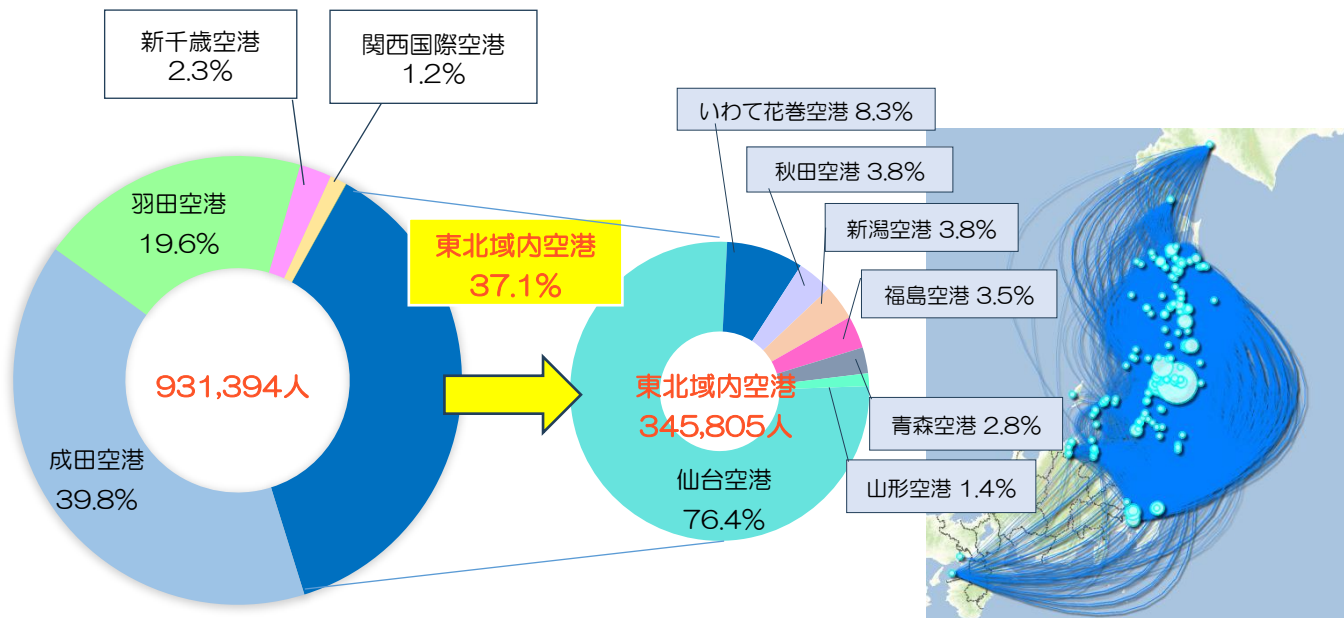
【JNTOフィリピン市場Instagram
visitjapanphでの発信】

引き続き、ユーザーの反応や各コンテンツの最適期等を踏まえながら、7月までオウンドメディアで順次発信を行います。

東北観光DMP（データ・マネジメント・プラットフォーム）では、東北6県及び新潟県の観光マーケティングデータを一元管理しており、国内・海外旅行客の動態や消費購買などを分析することが可能になっています。以下では、2024年1～12月の期間における訪日旅行客の動態を分析しています。

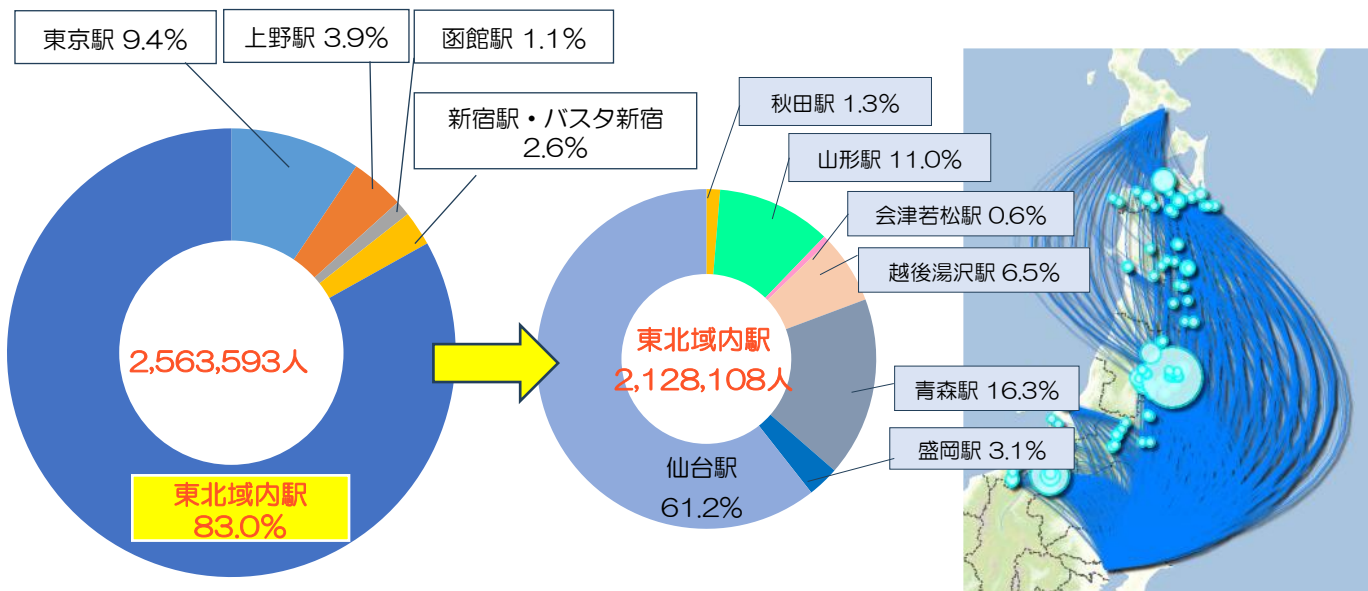
東北域外主要空港及び域内空港の訪問割合について（2024年1月～12月）

東北を訪れる訪日旅行客の空港訪問割合を見ると、東北域外主要空港では成田空港（39.8%）の利用が最も大きく、次いで羽田空港（19.6%）を利用していることが読み取れます。東北域内空港の利用は全体の37.1%となっており、そのうち直行便の就航が多い仙台空港が76.4%と大きな割合を占めています。



東北域外ターミナル駅及び域内駅の訪問割合について（2024年1月～12月）

訪日旅行客の駅訪問割合を見ると、東北域外ターミナルでは東京駅（9.4%）の利用が最も大きく、次いで上野駅（3.9%）を利用していることが読み取れます。東北域内駅の利用は全体の83.0%となっており、その内訳として大きい順から仙台駅（61.2%）、青森駅（16.3%）、山形駅（11.0%）となっています。



2023年と2024年のデータ分析による〈実訪問数〉動態比較

東北観光DMPで見る2024年の訪日旅行客の実訪問数は2,499,514人で、2023年の1,537,422人から62.6%増加しました。一方、訪問スポット数は228か所で、2023年の271か所を下回っており、著名な観光スポットに訪日旅行客の訪問が集中していることが推測されます。

訪問スポット別に見ると、観光地では、銀山温泉、松島海岸周辺、蔵王温泉（樹氷高原周辺）、花巻温泉、狛鼻溪などが2023年から大きく実訪問数を伸ばしています。これらのスポットの訪問者を国別で見ると、いずれも台湾が7割以上を占めていることから、全体で大きく増加している台湾からの観光客を誘客できたスポットで実訪問者数が増加している傾向が見られます。

また、上位スポットに大型ショッピングモールが入っており、ショッピング消費が旺盛な東アジアの観光客（台湾・中国など）を中心とした訪問先になっていることがうかがえます。

2023年〈実訪問スポット：271か所〉

都道府県	上位スポット20地点	実訪問数
総合計	総合計	1,537,422
1 宮城県	仙台市青葉区中央（仙台駅前西側）	162,389
2 宮城県	仙台市青葉区国分町（歓楽街）	61,876
3 宮城県	仙台市青葉区五橋（仙台駅前南西側）	54,788
4 山形県	尾花沢市 銀山新畑（銀山温泉）	49,657
5 青森県	青森市篠田（青森駅前西側）	46,684
6 新潟県	越後湯沢駅周辺	38,783
7 宮城県	松島町 松島（松島海岸周辺）	36,945
8 青森県	青森市安方（青森駅前東北側）	34,743
9 福島県	下郷町 大内（宿）	29,686
10 山形県	山形市 香澄町（山形駅東口）	29,320
11 新潟県	ガーラ湯沢周辺	27,362
12 岩手県	盛岡市 新田町（盛岡駅北西）	23,879
13 山形県	山形市 蔵王温泉（樹氷高原周辺）	23,747
14 青森県	弘前市 大字下白銀町（弘前城）	22,845
15 岩手県	盛岡市 中央通（盛岡中心街）	21,613
16 青森県	奥入瀬溪流館（奥入瀬川の上流・南側）	21,272
17 宮城県	仙台市宮城野区 仙台港北（SE-ELIA）	20,872
18 新潟県	新潟駅周辺	20,263
19 岩手県	花巻市 湯本（花巻温泉）	19,844
20 秋田県	J R角館駅	18,471

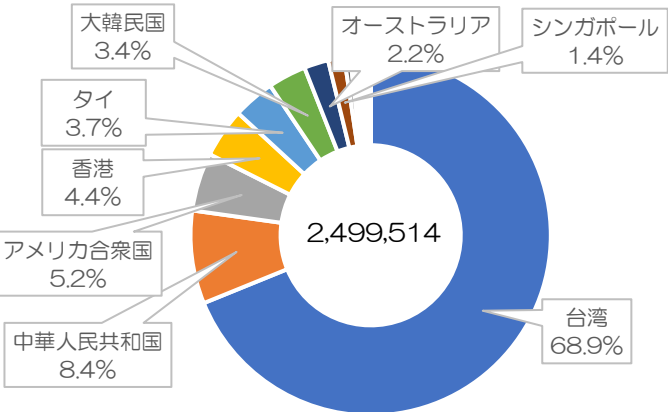
2024年〈実訪問スポット：228か所〉

都道府県	上位スポット20地点	実訪問数
総合計	総合計	2,499,514
1 宮城県	仙台市青葉区中央（仙台駅前西側）	286,854
2 山形県	尾花沢市 銀山新畑（銀山温泉）	90,729
3 宮城県	仙台市青葉区国分町（歓楽街）	87,384
4 宮城県	仙台市青葉区五橋（仙台駅前南西側）	80,910
5 宮城県	松島町 松島（松島海岸周辺）	67,622
6 青森県	青森市安方（青森駅前東北側）	66,946
7 新潟県	越後湯沢駅周辺	66,622
8 宮城県	名取市 下増田（仙台空港）★	65,157
9 山形県	山形市 蔵王温泉（樹氷高原周辺）	59,754
10 岩手県	花巻市 湯本（花巻温泉）	52,501
11 山形県	山形市 香澄町（山形駅東口）	50,729
12 福島県	下郷町 大内（宿）	49,678
13 山形県	山形市 蔵王温泉（0°ウエイ・宿街）★	44,759
14 青森県	青森市篠田（青森駅前西側）	44,161
15 岩手県	一関市 東山町長坂（狛鼻溪など）★	39,300
16 岩手県	盛岡市 中央通（盛岡中心街）	37,228
17 宮城県	仙台市宮城野区 仙台港北（SE-ELIA）	36,294
18 宮城県	杜せきのした（イモール名取）★	35,400
19 青森県	奥入瀬溪流館（奥入瀬川の上流・南側）	35,157
20 青森県	弘前市 若党町（弘前城北部エリア）★	34,470

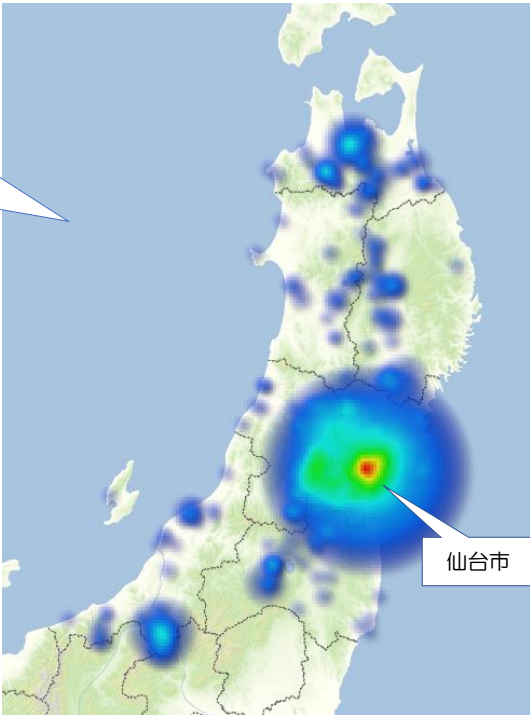
★ 新規ランクイン

2024年の訪日旅行客の訪問は、仙台市を中心に松島海岸周辺などの宮城県内のスポットや山形県（銀山温泉や蔵王温泉など）といった近隣の地域を含んだエリアに最も集中している様子がうかがえます。

その他、青森駅周辺、盛岡市中心街、大内宿、越後湯沢駅などのエリアにも集中の傾向が見られます。



【2024年 国別実訪問割合】



【2024年 実訪問ヒートマップ】

2023年と2024年のデータ分析による〈他地域訪問数〉動態比較

東北観光DMPで見る2024年の訪日旅行客の他地域訪問数は7,933,835人で、2023年の5,005,761人から58.5%増加しました。他地域訪問スポット数は207か所となり、2023年を18か所上回っていることから、旅行客あたりの移動が広域化していることがうかがえます。

訪問スポット別に見ると、観光地では、銀山温泉、松島海岸周辺、蔵王温泉（樹氷高原周辺）、花巻温泉、狛鼻溪などが2023年から大きく訪問数を伸ばしており、これらのスポットの訪問者は、東北6県・新潟県のスポットを広く周遊している様子が見られます。また、仙台駅前西側のスポットが訪問の最上位スポットとなっていることから、東北6県・新潟県の観光では仙台駅を拠点として移動している訪日旅行客が多いと推測されます。

2023年〈他地域訪問スポット：189か所〉

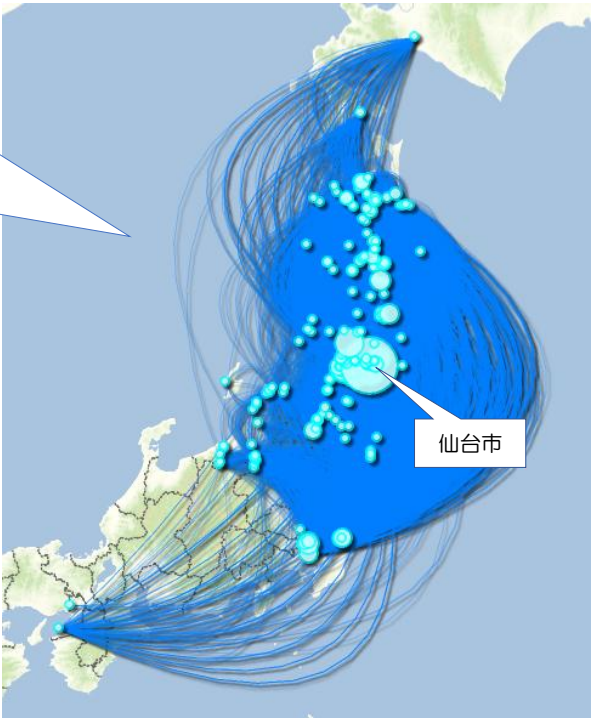
	都道府県	上位スポット20地点	実訪問数
	総合計	総合計	5,005,761
1	宮城県	仙台市青葉区中央（仙台駅前西側）	500,212
2	東京都	東京駅周辺	201,008
3	山形県	尾花沢市 銀山新郷（銀山温泉）	192,632
4	宮城県	仙台市青葉区国分町（歓楽街）	183,602
5	宮城県	仙台市青葉区五橋（仙台駅前南西側）	180,700
6	東京都	羽田空港第3ターミナル周辺	147,777
7	青森県	青森市篠田（青森駅前西側）	141,376
8	宮城県	松島町 松島（松島海岸周辺）	140,137
9	千葉県	成田空港第2ターミナル周辺	113,341
10	東京都	上野駅周辺	109,534
11	福島県	下郷町 大内（宿）	101,373
12	山形県	山形市 香澄町（山形駅東口）	99,351
13	秋田県	角館武家屋敷	97,491
14	青森県	青森市安方（青森駅前東北側）	95,689
15	岩手県	一関市 東山町長坂（狛鼻溪など）	92,759
16	岩手県	花巻市 湯本（花巻温泉）	91,787
17	千葉県	成田空港第1ターミナル周辺	91,411
18	東京都	新宿駅・バスタ新宿周辺	84,852
19	山形県	山形市 蔵王温泉（樹氷高原周辺）	83,855
20	宮城県	仙台市宮城野区 仙台港北（SE-ルリア）	83,368

2024年〈他地域訪問スポット：207か所〉

	都道府県	上位スポット20地点	実訪問数
	総合計	総合計	7,933,835
1	宮城県	仙台市青葉区中央（仙台駅前西側）	865,814
2	山形県	尾花沢市 銀山新郷（銀山温泉）	373,359
3	宮城県	松島町 松島（松島海岸周辺）	265,978
4	宮城県	名取市 下増田（仙台空港）★	262,840
5	山形県	山形市 蔵王温泉（樹氷高原周辺）	258,721
6	宮城県	仙台市青葉区国分町（歓楽街）	245,710
7	東京都	東京駅周辺	241,747
8	岩手県	花巻市 湯本（花巻温泉）	236,624
9	宮城県	仙台市青葉区五橋（仙台駅前南西側）	227,998
10	岩手県	一関市 東山町長坂（狛鼻溪など）	197,342
11	千葉県	成田空港第2ターミナル周辺	188,069
12	東京都	羽田空港第3ターミナル周辺	182,466
13	山形県	山形市 香澄町（山形駅東口）	175,925
14	山形県	山形市 蔵王温泉（0-7°℃イ・宿街）★	172,135
15	福島県	下郷町 大内（宿）	168,636
16	千葉県	成田空港第1ターミナル周辺	167,598
17	青森県	青森市安方（青森駅前東北側）	150,646
18	宮城県	仙台市宮城野区 仙台港北（SE-ルリア）	138,581
19	宮城県	杜せきのした（イモール名取）★	134,123
20	青森県	奥入瀬溪流館（奥入瀬川の上流・南側）★	110,055

★ 新規ランクイン

2024年の訪日旅行客の訪問は、仙台市を中心に東北6県及び新潟県を広域に周遊している様子が見られます。また、域外からの訪問は、東京エリアからの訪問が最も多くなっていますが、北海道や大阪からも訪問している様子が見られ、非常に広い範囲で移動する訪日旅行客がいることがうかがえます。



【2024年 他訪問スポット】

◆インバウンド

・5/23 第1回 訪日プロモーション担当者会議

東北6県・新潟県・仙台市の訪日プロモーション担当者が出席する会議をリアル出席とオンライン出席の併用で開催しました。異動に伴い双方の担当者に変更があったため、改めて2025年度の各市場の方針、事業計画を共有しました。また、2024年度に実施したJNTO海外事務所とのミーティングの報告を行い、その成果として2025年度はJNTOが主催する旅行博への出展強化と、東北への招請事業が10本（2024年は2本）になったことを共有しました。

今年度は担当者会議の開催を年4回とし、各市場毎の情報交換を強化することで連携事業の更なる充実を図ってまいります。



【会議の様子】



【壁面を使用した案内】



【VRを体験する来場者】

・5/25 Snow Travel Expo Sydney出展

豪州シドニーにおいて、旅行会社および一般消費者向けに開催された「Snow Travel Expo」に出展し、冬の東北プロモーションを行ってまいりました。

東観推は昨年より1ブース増やした2ブースで出展し、独自に出展した山形蔵王（2ブース）、安比高原（1ブース）と連携を図りブースを集合させ、東北全体の認知向上に努めました。東観推のブースでは、東北の地図がデザインされた壁面装飾を用いたご案内を行ったほか、東北の冬の風景をVRで体験いただくなど、たくさんの方に楽しみながら東北の魅力を感じていただくことができました。来場者の多くは「東北」が日本のどこに位置するのかを知っており、継続したプロモーションによる効果を実感することができました。また、各スキー場に興味・関心のある来場者へは、相互に紹介を行い連携してプロモーションを行うことができました。

日本へのスキー旅行人気がますます高まっており、東北一体となったプロモーションの重要性を再認識する旅行博出展となりました。

◆招請事業

・5/26～5/30 Adventure Week 2025 TOHOKU ATTA事前視察

9月に開催予定のAdventure Week 2025 TOHOKUに先立ち、アドベンチャートラベルの世界的団体であるATTA(Adventure Travel Trade Association)からJanie Welsh氏(Event Experience Manager)を招き、東北6県を巡る事前視察を実施しました。

「トレイル」をテーマとして山・森・海と魅力の異なるエリアをスルーガイド・各地のローカルガイドと歩きながら、各地の人や文化、体験に触れていただきました。

メディアも計12社の取材が入り、注目度の高いイベントとなりました。

東北の圧倒的な自然景観やそこでの生活・食文化とのつながり、自然と共存する人々のサステナブルな有り方などはとても価値が高く、世界でも人気が出るだろうと総じてポジティブなご意見をいただきました。

一方、長い移動時間の活用方法や、トレイルを軸としながら料理体験・別のアクティビティ体験なども織り交ぜるとより良くなること、“Why”を大切にするアドベンチャートラベラーにはストーリーのつながりが非常に重要、などのアドバイスがありました。

9月の本番に向け改善を図り、東北を世界に認知頂く機会にまいります。



【ボルケーノトレイル】



【みちのく潮風トレイル】



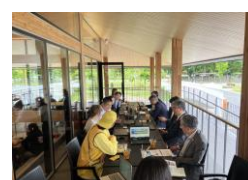
【羽黒山石段詣】



【浄土ヶ浜シーカヤック】



【マタギ体験】



【緑彩館・FBミーティング】

◆Base! TOHOKU

・5/3 「Base!TOHOKU」旅行会社向け説明会

国内外のお客様に東北域内での連泊滞在を訴求拡大するため、今年も「Base!TOHOKU」参画旅行会社説明会を実施し、「Base!TOHOKU」ブランドに係る商品造成及び販路拡大の協力依頼を行いました。2025年度は中期計画第5期の5年目の節目にあたるため、2021年事業立上げからの活動取組みと、2025年度活動計画案について説明しました。説明会は現地参加9社15名、オンライン参加5社10名のハイブリッド式で行い、ご出席いただいた方から様々なご意見を頂戴し、今後の取組みに対する課題を共有する貴重な場となりました。



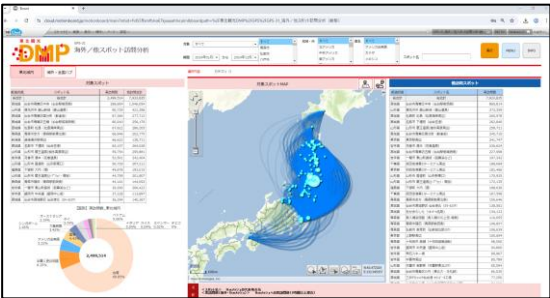
【説明会の様子】

◆東北観光DMP

・「東北観光DMP」を活用した東北広域戦略策定事業決定

観光庁「令和7年度訪日外国人旅行者周遊促進事業費補助金（地域周遊観光促進事業）」を活用して、「東北観光DMP」を活用した東北広域戦略策定事業を実施します。

東北観光DMPを活用し、データに基づいた東北広域での観光戦略を作成するため、海外動態データ（他スポット訪問）を格納・可視化し、東北域内の自治体・DMO・地域の観光事業者等の観光施策の予算計画、観光施設やイベントの重要性を訴求するエビデンスとしての活用のほか、各種プロモーション、コンテンツ造成、受入環境整備等に役立てるための分析を行います。



◆TOHOKU Fan Club

・会員数3万2千人を超える TOHOKU Fan Clubを地域の情報発信やマーケティング調査に活用してみませんか？

TOHOKU Fan Clubでは、国内はもとより海外のファンも5千人を超え、多くのファンに東北の魅力を発信しています。特にファンの声を直接吸い上げるアンケート調査機能は、地域や企業さまの強力なマーケティングツールとしてご活用いただけます。3万2千人を擁するTOHOKU Fan Clubをぜひ、ご活用ください。



	① 投稿	おすすめ！ ② アンケート		③ オファー
区分	ファンへの情報発信（≒Facebook）	ファンが回答するもの		ファンが申し込むもの または、ファン限定の情報
活用例	おすすめ情報、お得な情報 （例）お祭り・イベント開催予告 新規観光施設のオープン 桜・紅葉の見ごろ情報 等	ファンに聞きたい内容 （例）コンテンツ造成前のテストマーケティング・ 認知度調査 等		ファンへの参加や購入の呼びかけ （例）モニターツアー参加者募集 セミナー参加者募集 ファン限定プラン販売 等
利用料	<会員特典> 正会員：3回まで無料 賛助会員：1回まで無料	10問まで	15万円 + ポイント原資	<会員特典> 正会員：3回まで無料 賛助会員：1回まで無料
		30問まで	35万円 + ポイント原資	

※アンケート調査利用促進キャンペーン中！調査費用・設問数などぜひご相談ください。
詳細は、地域戦略部までお問い合わせください。【お問い合わせ】地域戦略部 brand@tohokutourism.jp

◆会議

・5/9 第32回理事会

第32回理事会を開催し、新規入会会員の件、理事・監事選任の件、2024年度収支決算の件について審議を行い、異議なく承認されました。
また、2024年度事業報告、2025年度事業計画の報告の他、大阪・関西万博の対応状況について情報提供を行いました。



【会議の様子】

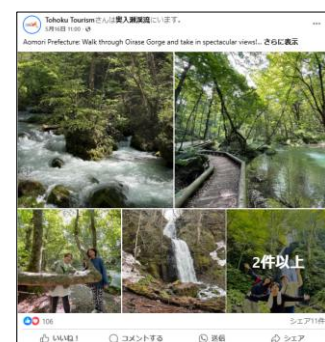
東北観光推進機構からのお知らせ

●以下のHP・SNSなどで情報提供を行っています。

	【東北の観光・旅行情報サイト 旅東北】 https://www.tohokukanko.jp/	
	【Facebook (Tohoku Tourism) 英語版】 https://www.facebook.com/TohokuTourism/?ref=page_internal	
	【Facebook (Tohoku for Muslims) ムスリム版】 https://www.facebook.com/EnjoyTohokuFood/posts/	
	【Facebook (日本東北旅遊) 香港・台湾版】 https://www.facebook.com/profile.php?id=61573640108172#	
	【Facebook (旅東北 東北観光推進機構) 日本語版】 https://www.facebook.com/tohokukanko	
	【Facebook (Go Tohoku Thailand) タイ語版】 https://www.facebook.com/tohokufuntrip	
	【Instagram (tohokutourism) 英語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism/?hl=ja	
	【Instagram (東北旅遊) 香港・台湾版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_tc/?hl=ja	
	【Instagram (【公式】東北観光推進機構) 日本語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_jp/	
	【Weibo (日本東北玩樂GO)】 https://weibo.com/lvdongbei	



【瑞雲院のあじさい（山形県）】



【奥入瀬渓流散策ツアー（青森県）】



【小岩井農場まきば園（岩手県）】

◆Instagramにおける「#東北PR局」を付けた投稿のお願い◆

東北の観光に関係する投稿の際には、ぜひ「#東北PR局」をつけてご投稿ください。「#東北PR局」をつけて投稿いただいたものの中から、素敵な投稿をリポストさせていただきます。（リポスト前にはメッセージで許諾を取らせていただきます）

リポストは東北観光推進機構のInstagramとFacebook（旅東北 東北観光推進機構）の両方で投稿します。

●東観推推進本部において人事異動がございましたのでお知らせいたします。

【転出5/31付】 ・地域戦略部統括マネージャー 有方俊行（日本旅行へ帰任）

【転入6/1付】 ・地域戦略部統括マネージャー 浅羽由紀夫（日本旅行より着任）

【発行】（一社）東北観光推進機構

仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階

【Email】 info-ttpo@tohokutourism.jp

【TEL】 022-721-1291 【FAX】 022-721-1293

